



FUCHU

令和4年度東京支部総会・懇親会を開催します

日時: 令和4年5月28日 土曜日
14時30分から16時30分まで(2時間)
場所: 学士会館 (千代田区神田錦町3-28)
会費: 3,000円 (※お酒、お食事のご提供はございません)

2年間開催を見送ってきましたが「WITHコロナを前提に、安心して交流を深められる総会・懇親会とする」ことを基本に検討し、以下の通り対策を施して実施致します。

- ・総会・懇親会の時間短縮
- ・アトラクションの中止
- ・高校・本部等からの来賓招待の中止
- ・懇親会ではアルコールや食事の提供なし
- ・国・都の感染拡大防止ガイドラインに沿った運営

久しぶりに同窓生が集う場の提供に努めます。例年よりもかなり早い時期で恐縮ですが、
出欠のご返事を2月10日までにハガキかメールかお電話で、お知らせください。

メール: yo_hase@mac.com
電話: 080-4001-8024 広報・名簿管理担当 長谷川陽一(57年卒)宛て



・今号は、A3で裏表6ページの構成になっております。
昨年12月から今年1月まで『中国新聞セレクト』に掲載された「高校人国記 全5回」を掲載しました。(広島在住の皆さまは既にご覧になっているかもしれません)
各方面で活躍されている同窓生の多いことにびっくりなさる筈です。同期や先輩・後輩の活躍ぶりをじっくりお楽しみください。
裏面からは、見開きでご覧ください。

(中国新聞社の許諾は得ております)

恩師ならびに卒業生の作品寄贈

東京支部では、本部同窓会からのご援助の下、学校図書館への寄贈活動を続けております。東京支部会員に限らず、全ての同窓生・恩師の作品について、情報がございましたら、総務担当幹事(小田 昌一 50年卒)までご連絡ください。
090-2759-0116 sodasoda005@gmail.com

今年度(令和3年10月末) 図書館寄贈済みの作品一覧

- | | | |
|-------|--------------------|--|
| ・50年卒 | 佐藤 忍 様 | 「日本の外国人労働者受け入れ政策 人材育成指向型」 |
| ・52年卒 | 河原 雅彦 様 | 「物知り博士」(Mr.Know-All) DVD
サマセット・モーム
「物知り博士」(Mr.Know-All)と
プロコルハルムの「青い影」について CD |
| ・57年卒 | 佐藤 真澄 様 (佐藤 美由紀 様) | 「憎しみを乗り越えて ヒロシマを語り継ぐ近藤絵子」
「たとえ悪者になっても ある犬の訓練士のはなし」 |

通信連絡賛助金を頂いた皆さま

(令和2年11月から令和3年10月末まで)

この東京支部会報は、皆さまからの通信連絡賛助金によって支えられております。同封の振込用紙にて、引き続きのご協力を何卒よろしくお願ひいたします。(卒業年順: 年次内順不同 敬称略 (旧姓))

22年卒 大塚 欣二	31年卒 重田 弘毅	37年卒 神谷 俊男	41年卒 品川 裕明	45年卒 小川 修司	東 千明 (小田)	高井 信子 (稻垣)	57年卒 石岀 裕子 (小川)
24年卒 松坂 隆之	32年卒 松尾 保 (宇佐美)	(瀬尾) 香山 拓子	野村 卓三	木村 久丹彦	高橋 宏	49年卒 石岡 義章	高尾 幸江 花山 照子 (木下)
26年卒 宅味 大治	38年卒 甲斐 弘己	42年卒 佐藤 義雄 (千葉)	46年卒 石川 みちえ (戸田)	47年卒 杉山 鈴香	藤原 和明	58年卒 原田 実能	58年卒 木川 晃子 (能宗)
27年卒 無記名	33年卒 山崎 章二	40年卒 山本 芙美子 (小森)	42年卒 奥田 操	48年卒 津田 雅子 (山手)	宮坂 初恵 (福地)	53年卒 目崎 一登	矢倉 靖子 (佐々田)
28年卒 神田 庄二	34年卒 森川 裕司	44年卒 植岡 宏三	44年卒 大本 知治	49年卒 今川 修吉	50年卒 藤本 修	60年卒 小川 由美子 (柿本)	60年卒 比羅岡 嘉
29年卒 田中 忠夫	35年卒 森信 節子	40年卒 鈴木 瑞恵 (藤井)	45年卒 掛江 実 (神原)	51年卒 田辺 吉昭	51年卒 小林 達志	61年卒 多田 幸夫	61年卒 高橋 弘一郎
30年卒 能島 小枝子 (永久)	36年卒 豊原 尚夫	46年卒 岸房 隆行	46年卒 藤原 善充	52年卒 森田 育宏	52年卒 中山 幹彦	55年卒 小野 恵美	54年卒 中村 豊
31年卒 中村 恵子 (土屋)	37年卒 坂本 和子 (赤毛)	47年卒 近藤 宣行	47年卒 藤原 善充	53年卒 河原 雅彦	53年卒 佐藤 宏一	56年卒 井澤 桂	H11年卒 寺川 光洋
		48年卒 小原 匠世	48年卒 小原 匠世	54年卒 神谷 達也	54年卒 中山 幹彦	57年卒 飯田 泰弘	55年卒 フジモトユウジ
		49年卒 薮本 達雄	49年卒 西村 文子	55年卒 河原 雅彦	55年卒 井澤 桂	58年卒 藤井 康雄	56年卒 H13年卒 井澤 桂
		50年卒 山村 民枝 (鎌倉)	50年卒 宮崎 千代子	56年卒 (菊岡)	56年卒 飯田 泰弘	59年卒 藤井 康雄	57年卒 (神田)
		51年卒 門田 博文	51年卒 (松坂)	57年卒 井上 誠	57年卒 (菊岡)	60年卒 藤井 康雄	

計 報

謹んでお悔やみ申し上げます

- | | |
|------|-------------------|
| 19年卒 | 大永 勇作 様
(元支部長) |
| 27年卒 | 井上 千歳 様 |
| 33年卒 | 佐藤夕力子 様 |
| 38年卒 | 小田 史人 様 |
| 47年卒 | 楳崎 洋子 様 |

同窓会開催情報

本部同窓会

令和4年11月13日 開催
府中市総合体育館(TTCアリーナ)
お問い合わせ先: 本部同窓会事務局
fkou.100@true.ocn.ne.jp

広島支部

お問い合わせ先: 龍田幹事長
ryocca0831@yahoo.co.jp

関西支部

お問い合わせ先: 橋高幹事長
hkittaka@yahoo.co.jp

編集後記

複数のきっかけで、25年振りのゴルフ熱。若い頃は思わなかったゴルフの奥深さ、女子プロ選手の活躍ぶりに感心しながら日々練習を重ねております。

また、自分に合う色をコーディネートしてくれる人と巡り会い、「ゴルフゴルフしていない」「自分では絶対手にしない服」を選んでもらい、大満足しています。(長谷川)

発行人住所 〒112-0011

東京都文京区千石2-44-16

発行人 長谷川 陽一

広報・名簿管理担当 昭和57年卒



創設108年目を迎える府中高校。府中高文、旧制中学などを含め、これまで3万6千人を超す卒業生を送り出した



＜校名＞広島県立府中高等学校
＜所在地＞府中市出口町898
＜校長＞古前勝教（24代目）
＜クラス数＞各学年6クラス。いずれも普通科
＜生徒数＞689人（2020年度）
＜校名の変遷＞1912（明治45）年、芦品都立実科高等女学校▽20（大正9）年、芦品高等女学校▽23（同12）年、県立府中高等女学校▽48（昭和23）年、県府中更高等学校=以上、府中高等女学校
21（大正10）年、県立芦品中学校▽23（同12）年、県立府中中学校▽48（昭和23）年、県府中高等学校=以上、旧制府中中学校
49（同24）年、県府中高等学校と県府中更高等学校を廃し、県府中高等学校▽68（同43）年、現校名に
＜校訓＞平和と文化を象徴するハトとペンを区画化し、そ



「タリアを発見し4年間、洋画を絵の上に描いて、04年に帰国。倉敷市にてアトリエを構え、若手藝術家と創作活動を続ける。「常に自分を自由にしたい。」にむづがれない立場で暮らしていきたい。」少年時代から変わらぬ思いを語る。

北川たちと倉中造形美術家協会を設立した洋画家中山一郎（1910年～95年）と姪娘）、その後に作家デビューを果たすのが、中山葉集子（93）。夫の瘦賀生志郎と家庭の葛藤をつ

常に自分を自由にしたい

85(5年)」との出会いで美術の道に進んだのが、抽象絵画や立体作品などで国内外に知られる美術作家高橋秀(90)だ。本年度の文化功劳者に選ばれた。

絵は得意だったが、小学時代に「コンクールのために練習をせられ、陰が嫌になつた」。なが城中の旧制中学時は才能を賞され、勧奨金の結果でネジやの製図を「それだけ」した。

北川との出会いは卒業後、化粧品の販賣販売を起業した頃だった。アトリエを訪ね、ピカソなどの画集に衝撃を受けた。「探し求めていたのは、この世界」。

武蔵野美術学校(現武蔵野美術大)に籍を置いたが、「(絵画が)物足りない」と絵画の道を歩み1961年、新人洋画家の審評会に选ばれる安井賞を受賞。挿絵などの収支が増え、「自分本位の仕事ができなくなる」と断り、北川へ。

アートや文学で
多彩な人材光る

高校人國記

府中高校(府中市)①



英術作家高橋秀。本年度の文化功労者に選ばれた

つた和小説が「中興公論女流新人賞」
佳作となりた。井上光晴に師事し88年、沖間
と向ん誌「ふくやま文庫」を発刊した。
府中高校の前身の一つ農立府中高等学校
を卒業後、地元の寺で開かれた「農園塾」に一部
と田代。田代10代の子孫田代義久(いのり)
一部たちの「イケメン」と評価された。北川6-7年
リエにも田代らし「藝術をめぐる議論を聞く
のが楽しかった」。隠居した画家たちは再び
上京するが、その一時期の熱気も作品化した。



アキラ・タカウエイ

府中高級校にその後む、美術室を輩出した。世界規模の写真コンテストで最優秀賞を獲得するなど、国際的な評価を受ける三語写真家アキラ・タカウエ(49)は高上頭が、その一人。『EIEエンジニアリング』で世界各地の大橋などの設計に携わりながら、専門家の視点から橋など構造物を撮影「藝術写真に仕上げている。

高校時代、鹿児島大橋が開通した。「こんな大きな物が造れるのか」と感動した。大学、大学院と構造工学を学び、技術者として「インゴヤトル」「田中などの長大橋設計に関わった」。写真を始めたのは「竣工式の写真を外部に頼んでいたが、技術者である自分が撮影するのが一番いい」と考えたから。2011年、ブータン政府から写真使用の申し出があり、その高評価から建築写真に打ち込み始めた。2年後のインターナショナルフォトグラフィーアワード(米国)建築写真部門で最優秀賞に「その後も建築写真で多数の賞を獲得。昨夏に東京で開いた個展で「原点と云つた」鹿児島大橋の写真も出された。『今後は国内の歴史的な建築や自然の風景も狙いた』

京都五花街の一つ、祇園東が毎年秋に行う

みっちり仕込んでもらった教えが生きている



日原同評

興葉「歌謡をやり」で、15年間、構成、脚本を担当しているのが、塙田律（りつ）。東京藝術大学で日本歌謡の伴奏に使う三味線音楽遺伝節を専攻し、芸名は「唐元延伴月」。演者による創作をテーマにした曲歌、講話など、コラボする試みなど幅広い活動を展ねておられた。



卷四

「高校入園記」は「東三日町駅を中心とした高級住宅地に位置する卒業生を対象とした、高校の選抜をメールなどでお届けする」。発行はT730-00277西馬込中区十番の1、中国新聞編集局「高校入園記」係。メールアドレス:kou@chugoku.npo.jp

次回は18日に掲載します。

高校人国記

府中高校(府中市)②

音楽部の定演

プロへの原点



Eメモ



くかつての卒業生(学術文化、音楽関係一一時在籍者を含む)・山代巴(1912~2004年) 小説「荷車の歌」で知られ、農村文化運動や原水爆禁止運動にも取り組んだマ木下夕闇(1914~65年)詩人。戦後、広島県詩人協会の初代会長を務めるなど地元文壇の復興、発展に尽くしたマ平参平(1916~86年)吉本新喜劇座長マ松本英彦(1926~2000年)ジャズテナーサックス奏者。戦後のジャズブームをつくった一人マ日野啓三(1929~2002年)芥川賞作家。「抱擁」「夢の島」などの小説で知られるマ栗原謙水(1931~2010年)書家。日本書芸院名譽顧問、日展常務理事マ松岡信夫(1932~93年)市民エネルギー研究所代表。自主講座「公害原論」に参加するなど環境・エネルギー問題に取り組んだ

絃器合奏で府中高校音楽部。バイオリンやピオーネなどを部員21人が担当



NHK交響楽団首席フルート奏者の甲斐雅之



千葉正規

(51)だいた。エリザベト音大で講師として学び、1992年に新喜日本交響楽団入り。99年、講師に就いた。福山市神田町出身。中学時代、バスで定期演奏会に聴きに行き、聴くされた。「私も中学は子供だった。コントローラーは高校から。包み込むよだれが好きになった」という。「今後は子育てする演奏家のコンサートを増やしたい」と母子での活動も力を入れる。



能宗ルロン 美佐子

(75)は高校時代、ティンバニー。演奏家を目指し東京音楽大で打楽器を学んだが、「和鼓は作曲」と作曲指揮科を卒業した。広島に戻りクラシックコンサートを主催。現在は若い音楽家を支援するプロジェクトに力を注ぐ。

地域の音楽文化の発展に貢献

「フランスでピオーネ奏者として活動しながら、日本茶の魅力を伝える講習会などをしているのが、能宗ルロン美佐子(51)。高校、

武蔵音楽大とピオーネを経て、群馬交響楽団入り。その後、フランスへ音楽家として活動して07年、渡仏した。「フランスで飲む日本茶は水質が違う、おいしくなかった」と日本茶を学んだ。

NPO法人日本茶インストラクター協会から16年、フランスでの初代日本茶大使に任命された能宗が、本業でよみがえった。「うまくピアノが必須。早期練習で音楽が集まるまでの間にピアノを弾き、昼休みも「音に酔れて」練習を重ねた。武蔵野音楽大3年生の時、1番

音楽祭から「上達が早い。プロも夢じゃない」と認められ、担任したホルンの奏者を目指す。ところが希望する音大は、経験のないピアノが必須。早期練習で音楽が集まるまでの間にピアノを弾き、昼休みも「音に酔れて」練習を重ねた。武蔵野音楽大3年生の時、1番音楽祭に。高校の定期でホルンのソロを成功させた能宗が、本業でよみがえった。「うまくピアノでやれる確信が生まれた」

東京音楽大へ。フルートも地元でレッスンを続け、新幹線で東京のアコにも学んだ。高校2年のクラス対抗合唱コンクールではフルートのソロ演奏を披露し、会場を「おお」と沸かせたらしい。



小林洋三

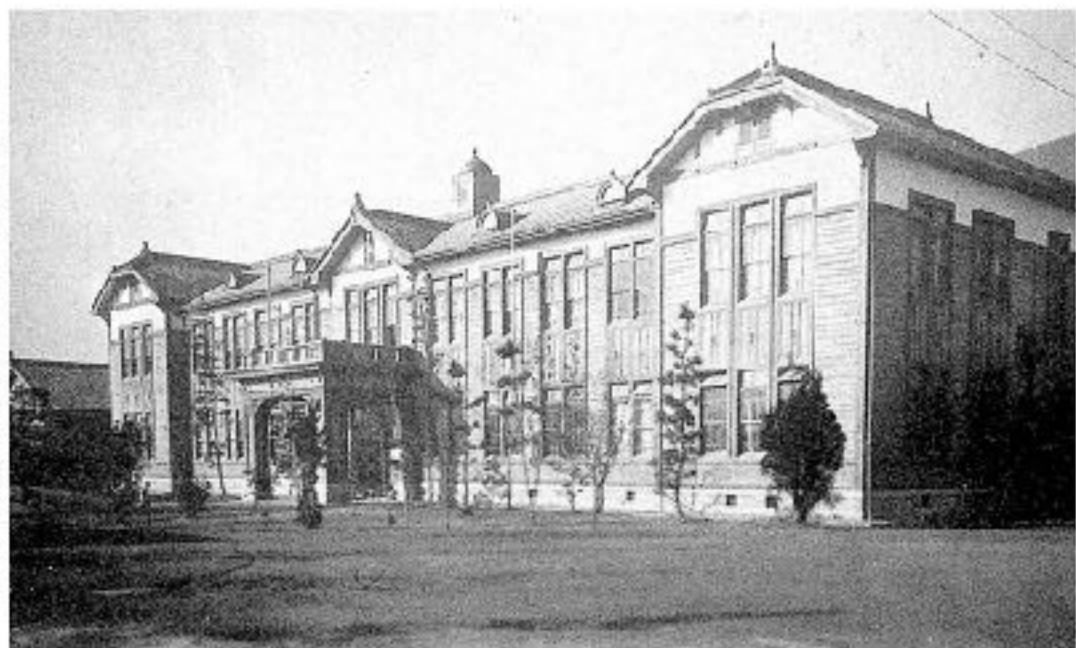
高校3年で「本格的に音楽をやりたい」と東京芸術大へ。フルートを専攻して2002年に学び入り。「高校で導うボーションである子エロをやり、オーケストラの全体を見ることがやりやすくなった」

千葉を音楽部に誘った同級生が、地元の府中シティオーケストラで団長を務める小林洋三(61)。家庭の事情から音楽を断念し進んだ広島経済大の2年の時、有志でアマチュアオーケストラをつくりた。就職で「1981年にはじまり、4年後に音楽同好会にしてスタートした府中シティオーケストラに加入了」と、2000年から音楽になつた。「卒業生も参加するコンサートなどをこれからも続け、地域の音楽文化を発展させたい」と力を込めた。

「高校人国記」は広島、山口両県を中心回って、高校生などお寄せください。各校の情報をメールなどでお寄せください。郵便は〒730-0047 広島市中区土橋町7メール: hokoku@chugoku-pj.co.jp

次回は1月24日(土)掲載します。

「高校人国記」は広島、山口両県を中心回つて、高校生などお寄せください。各校の情報をメールなどでお寄せください。郵便は〒730-0047 広島市中区土橋町7



「おお、おお、おお」と、田舎者たる喜びが、後び、田舎者の前喜である新規店舗が生まれた。



＜かつての卒業生（地歴部関係、 時在籍者を含む）＞豊元国（1914～84年）母校の旧制府中中学で教師となり、 赴任翌年の1941年、 のちに地歴部となる社会科研究部を創設した。70年の退職まで母校地歴部を率い、 県史部などの遺跡・遺物の発掘を続けた▽植田心社（1929～2019年）岡山市立オリエント美術館長▽廿柏健（1930～2012年）日本考古学協会会長、 新潟大名誉教授。戦中に母の実家に疎開し、 旧制府中中学に在籍した▽近藤正（1934～74年）島根県教委で上陥古代文化の研究に尽力▽高橋美久二（1944～2006年）滋賀県立大名誉教授。古代山陽道研究の第一人者として知られる



アンモナイト研究の第一人者である
重田建成

地歴部の情熱 研究者育てる

高校人國記

府中高校(府中市)③

かつては遺跡の発掘現場にも通った地质部はやつて10年の歴史を持つ。戦後の山形でも考古学の一角を担つた豊元國（口制村）中学出身、故人¹が教師として母校に定めし、1941年に創設しに社会科学研究部が始まり。これで考古学者を輩出。考古学者になつた者實むごね。

り、曖昧がさにエスカレート。化石や生物に懲りされ、大学でアンモナイトにならり着いた」。古生代から新生代にかけてアンモナイト研究で第一人者とされる重田康成(65)は自らの原点をこう切り出した。現職は、国立科学博物館環境変動史研究グループ・ブ良。アンモナイトは恐竜とともに絶滅したと考えられており、化石はその時代の海洋環境や生態系を探る手掛かり。壬子かずの地層が残るロシア極東地域をはじめ、アラスカやベトナム、フィリピン、タイにも赴き、アンモナイトを探す。国内でも北海道で初種のアンモナイトを発見した。高校の進路指導で「化石を研究したい」といって、教師から「おまえは変わつて」といふと言われたといふ。愛媛大理学部地質科学科に進み、研究室で見たアンモナイトの「美しさ」に心を奪われた。東大入学までさうに研究を深めた。

遺跡や古墳の発掘に夢中だった

元広島教育事務局理藏文化部調査室の藤原芳美(72)は新潟大で地質動物学を学び、71年に県教委へ。2年後には猪足鹿島の草戸千軒町遺跡調査所(福山市)に移り、芦田川中州の発掘に取り組んだ。「中国建設に伴う発掘が増えていた。行政による発掘の黎明期だった」

その後、県立歴史博物館(福山市)の建設準備に関わった。再び草戸千軒町遺跡研究所に戻り、4代目所長だった2004年、出土品の国重要文化財指定が決まった。「所長に就任」、土井田土官(田舎)を通じ、「おや重事をカードに書かれてた」という



類圖書

人材もいる。鳥取県埋蔵文化財センター収
握事業室係長の下江健太(45)は、豊先生の
教える子だった父から歴史の話を聞き、興味
を持った『岡』(文部省の考課)一冊に
連む比磨部出身の研究者の多さを知った
といふ。

比磨部の感覚である「器なり」の整理資料
は、校内の「学校博物館」に展示されてい
たが、89年に県立歴史博物館に移された。
その資料の一端がこの写真。県立歴史民俗博物
館(三次市)で展示された。

「草戸千軒町」調査に多数参画

元埴歴部員で、鉢巻を務める田辺義男(59)、
たちの企画だ。母校をはじめ、三次、日影館、
可部の計4高校の考古学研究会、土器研究会
のほか、当時の報告書やバトルなども参考
紹介。いざ「考古学に魅了され、高校生の熱
意を知りたい」と来場者を案内した。
小学6年の頃、川口で土器を見つり、考
古学に興味を持った玉造が母校を選んだ方
は「地蔵部があつたから」。奈良大文字部
文化財学科に進み、県教委入り、草江千軒
町遺跡の発掘に携わったほか、社会科教師
として赴任した向原高校(安芸高田市)では、
は、遺跡を訪ねる歴史巡回授業を実施する
など、体験重視の教育にこだわった。
近い、元の蔵原を歴史民俗資料館に招き、
講演会を開く。「当時の高校生の様子を、か
つての部員の声で紹介したい」――敬称略



田边英男

「高校×国記」はHKT「三日月真美を中心とした高校、JALの船橋の祭事」が「祭り」をテーマにした情報番組をメールなどで放送する企画。放送はTBC-950-0050-1-大島市中区千橋の「中国新聞総合」「高校×国記」係。メールはbokou@chugoku-np.co.jp

次回は1月1日に掲載します。

高校人国記

府中高校(府中市)④

経済界で飛躍

青春時代に基礎



府中高校グラウンドでは野球部をはじめ、生徒たちが練習に励む

Eメモ



＜かつての卒業生（政治経済）＞浦上豊（1909～72年）リヨービ創業者・岡崎平夫（1909～93年）1963年から5期20年、岡山市長を務めた。全国市長会長・安原真二郎（1911～80年）農産物乾燥機専業メーカー大紀産業＝岡山市＝創業者。古代オリエントの美術品収集家として知られ、コレクションの岡山市への寄贈が市立オリエント美術館開設につながった・北川一也（1927～2017年）北川鉄工所名誉会長、日本工作機器工業会長・谷口隆志（1931～2010年）労働事務次官、労働福祉事業団理事長・青山五郎（1930～2008年）青山商事創業者

府中高校時代は野球部をはじめ、生徒たちが練習に励む。高橋時代、母が大げがをし長崎へ。平日は洗い場や精算を引き受け、休日は移動販売車で府中市周辺を回つてスーパーの商品を売った。焼き肉を「お礼」に、洗い場は同級生たちも手伝つた。大東文化大を卒業後、父のスーパーに入り91年から社員。他社との競争で「青木の陣」だった93年、複数先のハワイで24時間スーパーの夜の営業ぶりに驚いた。いち早く導入、ビジネスモデルを確立した。現在は、近い将来の目標として売上内需勢で1000店舗、赤字上げ3千億円の現状の倍増を掲げる。高校時代は野球部をはじめ、生徒たちが練習に励む。高橋が多忙な毎だったが、ムードメーカーを



ハロース社長の佐藤利行

同級生や社員への感謝忘れない



岸房康行

カイハラ（福山市新市町）会長の見原良治（61）は、かずのこのチームの製造への転換に関わった。高校時代は、書道部に所属し「あまりうまくなかつたが一生懸命やつた」。一方で、夏や春の長期休暇中はかずのこの集荷を家業を手伝つた。成城大経済学部では勤職をきっかけに大学の合唱団入り。「他の大学との交流で貢献した校歌が、その後の会社の取引でも役に立つた」



見原良治

「果たした」。週末は友人の家に集まり、明け方近くまでテーマを決めて議論を重ねた。「『府中市長になつたら何をするか』などがテーマだった。『朝まで生ナレッジ』のようにならなかった」。週末は友人の家に集まり、明け方近くまでテーマを決めて議論を重ねた。



SHIFT社長の丹下大

週末は友人の家で明け方まで議論



若井研治

「中学時代は近隣の中学校のサッカー部員に声をかけ、昔で選手に選ばれた」とい、県大会新人戦で初優勝を果たした。また、筑波大硬式野球部投手の奈良木慶介（52）は本年度、プロ野球巨人から育成ドラフトでの指名を受けた。

JA広島中央会事務として県内畜産物の直売事業強化などを取り組んだ岸房康行（72）は、府中市で草タバコなどを栽培する事業農家の長男だった。「自分の家のよろひ小さな農地でも意欲的に生産できる対策が必要」とことわった。立命館大産業社会学部を卒業し県信連入り。中央会を退いた翌14年、アロバスケットボールの広島ドラゴンフライズ社長に就任。16年までポンサー集めなどに奔走した。高校時代は軟式テニス部に所属し「校内マラソン大会で優勝した」のが目標の一つ。長女の部活などを通じ「バスケットに興味を持つた」という。現在はNPOのまひな心豊かな家庭環境をつくる広島理事長として、食育や子育てなどの支援に力を尽へしている。

めた。

JJA広島中央会事務として県内畜産物の直売事業強化などを取り組んだ岸房康行（72）は、府中市で草タバコなどを栽培する事業農家の長男だった。「自分の家のよろひ小さな農地でも意欲的に生産できる対策が必要」とことわった。立命館大産業社会学部を卒業し県信連入り。中央会を退いた翌14年、アロバスケット

次回は1月8日に掲載します。

（編集委員・杉本真）

「高校人国記」は広島、山口両県を中心回つて高校とに話題の卒業生を紹介しています。各校の情報をメールでお寄せください。宛先は〒730-8677・広島市中区十日町1-1、中国新聞編集局「高校人国記」係。メールはjokon@chugoku-np.co.jp



府中高校正門。卒業生の多くが「自由な校風」といって、多くの人材を送り出している。

Eメモ



イラストレーター、ヒラノトシユキ(西は大医帝のサイン)ーー福岡学校で絵を基礎から学んだ。20



ヒラノトシユキ

見た人の視野を広げるアニメ作品つくりたい



甲斐等

団体「ジニーの会」代表の甲斐等(50)、チエル

「高校人国記」は古賀、山口西県を手がけている。高等学校にて評議の卒業生を紹介しています。各校の情報をメールなどでお寄せください。先は丁730-186777(福岡市西区)。メールは、bokukuchuuku@nuoc.jp

(福岡県立・福岡県立)

文化祭での弾き語りの経験が歌への道に

高校時代は吹奏楽部で活動。文化祭でオーケストラを手に弾き語りをした時、女生が泣いた。その子の心が動いた経験が、後のアーティストへの道につながった。10年から演説の歴史や文化を発信する活动中ロマン編集大使として地域振興にも力を尽くす。

学習は、理化学研究所環境資源科学研究センターで子へりでアーティストを務める木原慶子(49)がいる。高校時代、自分の夢に咲いた木原の「ヤマゴリ」が残している人がいる子。その人々を頼りたい」と演説部に向かう。キヨーパの画家家三木・ケバトと島崎の「君の名は。」のほか、「もののけ姫」、「となりの神様」など、スタジオジブリの作品で作画監督を務めてきた。今年中の劇場公開を目指すアニメ映画「君の名は。」やシブリ作品で活躍するアニメーター安藤雅司



甲斐等

ノアリ原発事故では2回、医師を現地で派遣し、「すべての核設置をなくす」活動を続ける。

高校人国記

府中高校(府中市)(5)

あふれる個性 多分野で活躍

くかつての卒業生(スポーツ関係)・マ村上正(1912~92)36年のペルリン五輪で110m障害に立場した。日本陸連監督部長マ新賀善郎(1914~2008年)走り高跳びの日本初の2位ジャンパーで35年のペルリン五輪に出場し、6位。日本陸連名譽副会長マ根来広光(1935~2003年)プロ野球選手、金田正一投手の女房役として活躍した。

く公益財団法人洞上奨学会・旧制帝中中学出身でリヨーピ創業者の浦上豊(故人)が県東部での若手人材育成を目的に1970年設立し、高校、大学に進学する生徒への奨学金貸与を始めた。その後、県内の大学院生、留学生などにも広げ、これまでに国内外で約1100人の学生を支援してきた。現在は農の長男でリヨーピ相続役の浦上浩(84)=府中高校出身=が2代目理事長。2010年度の府中高校講堂改修も資金面で支援した。貸与奨学生は今年4月から給付に切り替える。



アニメ映画「君の名は。」やシブリ作品で活躍するアニメーター安藤雅司

10年、東京・表参道のHIBIYAで大賞を獲得。その後、故井上ひさじの児童書「少年ロッキー」(1949)(2001年)でイラストを担当した。原爆投下後の「原爆と被爆」と、焼け野原の街や、大勢にニースを伝える少年の姿を描いた。「自分の経験で原爆や、井上さんの言葉を伝えなければ」と書いた

ノンノンカンション作家佐藤真由紀(佐藤真由紀のペントリーハウス)は25歳、ヒロシマに関する一冊でもっとも重い大統領。ホセ・ムカの言葉「君の名は。」(のほか、「もののけ姫」、「となりの神様」など)、スタジオジブリの作品で作画監督を務めてきた。今年中の劇場公開を目指すアニメ映画「君の名は。」のほか、「もののけ姫」、「となりの神様」など、スタジオジブリの作品で活躍するアニメーター安藤雅司

10年、東京・表参道のHIBIYAで大賞を獲得。その後、故井上ひさじの児童書「少年ロッキー」(1949)(2001年)でイラストを担当した。原爆投下後の「原爆と被爆」と、焼け野原の街や、大勢にニースを伝える少年の姿を描いた。「自分の経験で原爆や、井上さんの言葉を伝えなければ」と書いた